

# 『リユース』事業者による3R推進の2009年度実績

## PETボトル

- PETボトルリサイクル推進協議会が参加する環境省主催の「PETボトルを始めとするリユース・デポジット等の循環的利用に関する研究会」では、リターナブルPETボトルの衛生・安全性とLCA手法による環境負荷の比較評価において、次の結果が報告されました。

### 1) リターナブルPETボトルの消費者誤用実験について

代理汚染物質を入れ、洗浄した結果、PETボトル内壁に汚染物質が吸着し、除去できない。また、内容物を充填した結果、汚染物質が許容濃度を超えて溶出することが確認され、誤用されたボトルを検知する分析装置を用いた品質保証が必要である。

### 2) 環境負荷(エネルギー消費量、CO<sub>2</sub>排出量)について

オープンシステム(店頭販売等)のワンウェイPETボトルは、90%以上の高回収率で短い輸送距離(100km未満)のクローズドシステム(宅配等)のリターナブルを除けば、環境負荷が小さい。

# 『リサイクル』 リサイクル率・回収率等の向上

素材	指標	2010年 目標	2004年度 比較	2009年度 実績
ガラス びん	リサイクル率 (カレット使用率)	70%以 (75%以	8.7 ポイント↑	68.0% (74.2%)
PET ボトル	回収率	75%以	15.2 ポイント↑	77.5%
紙製容器 包装	回収率	20%以	0.9 ポイント↑	行政回収13.9% (行政+集団 19.1%)
プラス チック 製容器包装	収集率	75%以	20.0 ポイント↑	61.3%

# 『リサイクル』 リサイクル率・回収率等の向上

素材	指標	2010年度 目標	2004年度 比較	2009年度 実績
スチール缶	リサイクル率	85%以上	2.0 ポイント↑	89.1%
アルミ缶	リサイクル率	90%以上 (85%以上)	7.3 ポイント↑	93.4%
飲料用 紙容器	回収率	50%以上	8.0 ポイント↑	43.5%
段ボール	回収率	90%以上	13.4 ポイント↑	100.6%

**分別排出・収集は着実に進展しています**